

### 1 自己評価及び外部評価結果

**【事業所概要(事業所記入)】**

事業所番号	2290500087		
法人名	メディカル・ケア・サービス株式会社		
事業所名	愛の家グループホーム熱海水口 1階		
所在地	静岡県熱海市水口2-3-42		
自己評価作成日	令和1年7月4日	評価結果市町村受理日	令和元年8月19日

※事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。(↓このURLをクリック)

基本情報リンク先	<a href="http://www.kaijokensaku.nhlw.go.jp/22/index.php?action=kouhyou_detail_2018_022_kami=true&amp;JigyosyoCd=2290500087-00&amp;PrefCd=22&amp;VersionCd=022">http://www.kaijokensaku.nhlw.go.jp/22/index.php?action=kouhyou_detail_2018_022_kami=true&amp;JigyosyoCd=2290500087-00&amp;PrefCd=22&amp;VersionCd=022</a>
----------	---

**【評価機関概要(評価機関記入)】**

評価機関名	株式会社第三者評価機構 静岡評価調査室		
所在地	静岡県葵区材木町8番地1 柴山ビル1F-A		
訪問調査日	令和元年7月13日		

**【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】**

1人の時間を大切にしながらも、フロアーの皆さんが集まってゲームや体操をすることによって、入居者様同士が顔見知りの関係になり、自発的にお話で来る環境を作っている。

**【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】**

熱海駅から車で5分ほどの閑静な住宅地に事業所はあります。駐車場を見下ろす玄関口のベンチに集まった利用者の笑顔に現在の事業所の在り様が凝縮されているかのようで、来訪者に「おーい」と声が出たり手を振ったりと、利用者がその人らしくイキイキと暮らす様子が伝わり、またその傍らで補助する職員もにこやかで、気持ちのよい雰囲気事業所全体を包んでいます。1階ユニット口には職員の顔写真付の自己紹介ボードが置かれ、大きく引き伸ばした外出行事の笑顔や季節のクラフト作品からも安寧が伝わり、「(職員意見を)否定しないように配慮している」との管理者の姿勢が功奏していることが観えます。

**V. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目No.1~55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します**

項目		取り組みの成果 ↓該当するものに○印		項目		取り組みの成果 ↓該当するものに○印	
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目:23,24,25)	○	1. ほぼ全ての利用者の 2. 利用者の2/3くらい 3. 利用者の1/3くらい 4. ほとんど掴んでいない	63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている (参考項目:9,10,19)	○	1. ほぼ全ての家族と 2. 家族の2/3くらいと 3. 家族の1/3くらいと 4. ほとんどできていない
57	利用者職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目:18,38)	○	1. 毎日ある 2. 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない	64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2,20)	○	1. ほぼ毎日のように 2. 数日に1回程度 3. たまに 4. ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが広がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:4)	○	1. 大いに増えている 2. 少しずつ増えている 3. あまり増えていない 4. 全くない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目:36,37)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	66	職員は、活き活きと働いている (参考項目:11,12)	○	1. ほぼ全ての職員が 2. 職員の2/3くらいが 3. 職員の1/3くらいが 4. ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:49)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (参考項目:30,31)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	1. ほぼ全ての家族等が 2. 家族等の2/3くらいが 3. 家族等の1/3くらいが 4. ほとんどできていない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている (参考項目:28)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない				

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>I.理念に基づく運営</b>					
1	(1)	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	会議前に職員全員で理念を唱和している。また、事務所にも掲示し常に意識できるように努めている。会議では、内容についても話し合う時間を作っている。	理念については前回の目標達成計画にも掲げ、丁寧に推進されています。理念の内容をひも解くような取組みが会議でおこなわれ、「利用者に当てはまることは何か」を投げかけたり、実践エピソードを発表し合うことで職員の意識継続が図られています。	
2	(2)	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	地区の行事(お祭り、地域清掃など)にも積極的に参加するように努めている。	職員3名、利用者2名とで地域清掃にも出掛け、祭り太鼓の練習を見学したりと地域交流を重ねています。また職員の中には自治会の役員もいて地域情報がスムーズに入手でき、子ども神輿や音楽ボランティアの来訪もあります。	今後は幼児、児童と交流できる機会をつくっていくことを期待します。
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	運営推進会議を利用したり、福祉祭りに参加したり、今後より地域貢献について取り組んでいきたい		
4	(3)	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	運営推進会議では活動報告を必ず行っている。参加していただいた皆様から意見やアドバイスをいただき、すぐに実践に活かせるよう努めている。	自治会長、民生委員の出席はないものの、家族や成年後見人で5、6名となることもあり、「最近布団が干せてないんじゃないか」といった細目に渡った意見が挙がっています。また「ウエス持ってこようか」と協力的な言葉ももらえています。	地域からの出席が難しい場合は、自治会役員である職員をメンバーとすることも検討ください。
5	(4)	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	地区の役員の方に相談したり、少しずつ関係作りに向け働きかけを行っている。ホームの取り組みはあまり伝えられていない。	熱海市社会福祉協議会主宰の福祉まつりには利用者手編みのポシェットや貼り絵を出展しています。また熱海市連絡協議会のメンバーにもなり、今後は他事業所との連携を進めたい考えです。	
6	(5)	○身体拘束をしないケアの実践 代表者および全ての職員が「介指基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	身体拘束についての研修を行い、職員の理解を深め意識統一をはかっている。できるかぎり入り口の施錠しないよう取り組んでいる。	昨年度の法改正に係る指針整備、委員会開催(議事録)、職員研修は滞りなく推進されています。従来から長年取組む「不適切なケア」「身体拘束チェックシート」もPDCAサイクルに乗せており、現場改善が定着していることが覗えます。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	全体会議で、定期的な研修をおこなっている。常に意識できるようにしていきたい。		

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	まだ具体的な取り組みが出来ていない為、今後の課題である。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	十分な説明、理解、納得が得られるよう時間をかけている。また、書面でも確認承諾を得るようにしている。		
10	(6)	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	御家族様アンケートを定期的実施している。また、ケアプラン説明の際、ご意見、ご要望を聞く機会を作ったり、玄関に意見箱を設置している。ご意見、ご要望は速やかに対応するよう努めている。	遠方在住であったり、本人との関係等其々に訳もあって事業所に足を運んでくださる頻度に格差があります。事業所では「かもめ通信」を毎月発行し、利用者の顔写真、事業所からの報告とともに居室担当者が「お身体の様子」をしたため、家族の理解を高めています。	運営推進会議に出席する家族に限られてきているため、情報を全体で共有できるよう期待します。
11	(7)	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	毎月の全体会議で直接意見や提案を聞く機会を設けている。また、個人面談を定期的に行い、意見を聞くようにしている。	「早番の業務量が多い」との声から平準化を図る等、職員意見からの業務改善は少なくありません。年齢差は多少あるものの皆揃って挨拶が気持ち良く、朗らかな振舞が見られ、管理者が「(意見に対して)否定しないようにしている」ことが功奏しています。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	キャリアパス制度を取り入れ定期的に職員の評価を実施している。また、定期的に個人面談を行い、働きかけを行っている。		
13		○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	毎月の全体会議で必ず職員研修を行う様にし、また、外部の研修についても参加できるように働きかけ、調整を積極的に行うようにしている。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	福祉祭りに参加し事前会議などで交流する機会を設けているが、職員間の交流する機会はまだまだできていない。		

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスを導入する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	必ず直接スタッフがアセスメントに行き、ニーズの把握に努め、それを踏まえケアプランを作成している。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスを導入する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	アセスメントを繰り返し実施したり、連絡、説明を行い関係作りを円滑にできるようにしている。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスを導入する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	面接を担当した職員で必要なサービスを見極め検討するようし、必要な際は担当ケアマネとも連絡相談するようになっている。		
18		○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	掃除、洗濯たたみなど御本人の出来る事は協力していただきながら生活して頂くよう援助している。		
19		○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	常に連絡相談する体制をとり、必要な時はご協力していただいている。また、そのようなサービス体制であることに対して説明させていただいている。		
20	(8)	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	できるかぎり継続していただけるよう、面会の積極的な受け入れを実施している。馴染みの場所に行く機会が、減ってしまっているので、もっと積極的に出かけたりしていきたい。	以前から読み慣れた新聞を継続する人が2名、他にも絵画や書道が続ける人がいて、「30年近く卓球をやっていて～」という人には職員が行き添って卓球場へと出かけています。また数は少ないものの友人や知人が訪れる日もあります。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せず利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	共同空間を活用し多くの利用者様話しやすい雰囲気になるように席なども工夫している。		

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	サービス利用が終わってからの、関わりがあまりできていなかった。今後は、その後の関係性も大切にしていきたい。		
<b>Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>					
23	(9)	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	定期的実施しているケア会議では必ず御本人から意見を聞くようにしている。また、困難な場合は御本人の思いをみんなで充分考えるよう努めている。	普段「えっ、そうだったの?」と驚くようなこと、新たな発見があると「介護記録」に記載し、共有しています。また誕生日になると「したいことある?」と尋ねることは恒例で「かつ丼食べたい」「墓参りにいきたい」を実現させています。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	入居前に必ずアセスメントしている。今後は御家族様にもご協力して頂き、センター方式も取り入れながら情報の把握に努めていきたい。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	記録にとりながら現状の把握に努めている。また、職員間でも申し送りを充実させ毎日状態を把握をしている。		
26	(10)	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	御本人、御家族様のご要望を聞いている。また、それを取り入れる為にはどうしたらいいかをケア会議で話し合っている。	「本人がやりたいと言ったことは実現させる」との命題を以て介護計画書を作成しています。各ユニットに計画作成担当者を其々配し、2表のサービス内容を反映した「サービス内容実施記録」を職員が日々つけ、実践を確かなものにしていきます。	
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	前日までの記録は必ず目をとるようにし、ケア会議を行う際にはそれぞれの職員の意見を聞き、話し合いプランに生かすようにしている。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	ケア会議を充実させるよう職員で努力している。より良いサービスに向け考えていきたい。		

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	できるかぎり地域資源を活用できるよう心がけている。より多くの地域資源を把握し活用できるよう努めていきたい。		
30	(11)	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	希望のかかりつけ医に診て頂くことができるようご家族にも相談しながら、おこなっている。	月2回訪問診療をおこなう協力医に全員が変更しており、立ち合いは管理者、介護支援専門員とでおこない「往診報告書」に結果を残していません。専門医の通院は基本家族ですが、難しい場合は事業所で快く代行しています。	
31		○看護職との協働 介護職は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	体調管理には十分に注意しており、変化や気づいた事はすぐに連絡し指示をおおぐようにしている。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、又、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	出来る限り情報交換にいき、状態把握に努めるようにしている。ホーム側より積極的な関係作りに努めている。備えての関係作りは積極的にはできていない。		
33	(12)	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所のできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	入居される時に必ず説明し話し合うようにしている。早い段階から話し合いが出来るようにしていきたい。	「看取りはおこなわない」として契約時に家族とは合意形成できており、これまでに実績はありません。「おこなわない」と言っても様々なパターンが想定され、また緊急対応の書面とともに整備が課題と成っていますが目前のことでないこともあり、なかなか進んでいません。	協力医の指導を仰ぎ、対応や書面の整備を進めることを期待します。
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	全体会議を定期的に行い勉強会を実施している。新しく入社した方については、まだできていないので、しっかり行ない、急変時素早く対応できるようにしていきたい。		
35	(13)	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	防災訓練を定期的を実施して備えている。前回の防災訓練で消防の方立ち合いのもと、はじめて夜間想定をおこなった。地域の方との協力体制については今後より充実させていく必要がある。	課題としていた「夜間想定」「消防署の立ち合い」は本年6月の訓練でクリアしており、火元によって避難経路を変えることや通報板のランプを確認すること等具体的に指導及び助言を受けています。備蓄は賞味期限前に試食で消費し、棚卸もおこなっています。	

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>					
36	(14)	○一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	声掛けに対しては充分注意するように心がけている。研修などを通して、入居者様の気持ちになったり、会議でも話し合いの場を設けている。	フロアで「トイレ」とは言わないとか、居室に入る前のノックなどは都度管理者から指導するとともに、3ヶ月毎に法人本部のチェックシートで振り返りの機会があります。実際「親しき仲にも礼儀あり」を体現する職員が少なくないことも視認しました。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	入居者様お一人お一人が希望を言いやすいような言葉かけが出来るように心がけている。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	個人のペースでの生活を大切にしていきたいと利用者様の希望に耳を傾け支援している。思い思いの時間の使い方ができるよう援助している。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	毎日化粧水を使う方に用意したり、洋服を御自分で選んでいただいたりし、その人らしい身だしなみができるよう援助している。		
40	(15)	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている	入居者様の希望があったものを提供したり、出来る方には下膳していただいたりしている。また季節の食事を提供し、季節感を感じていただいたり、食事を楽しみにしていただけるよう努めている。	調理専門の職員が外部から入っていて、見た目にも栄養的にもバランスのよい献立が提供されています。3月には雑ちらし、7月は七夕そーめん、12月はケーキといった行事食のほか、リクエストに応え全体での外食も半年に1度程度おこなっています。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	個人の状態に合わせてチェック表を活用し個別に調整、管理をするようにしている。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	個人個人に合わせて口腔ケアの声かけ誘導したり、道具を用意したりしながら介助を実施している。		

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
43	(16)	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	排泄チェックを活かし、その方にあった排泄ペースを把握し、トイレ誘導を実施している。	自立している人4名は排泄チェック表をつけず、本人の意向と自己申告に任せています。排泄チェック表のとおり方は1階と2階で独自性を打ち出していて狙いは異なりますが、時間をみていくことで失禁が少なくなった例をはじめ、向上実績もあります。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	1日の水分量を管理少ない方には好みの物を飲んでいただいたり、体操や散歩などの運動をするなどの取り組みを実施している。		
45	(17)	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々にそった支援をしている	入浴がお好きなのに午後になると血圧が上がってしまう方については午前中に入浴していただいたり、個々に対応できるよう支援している。	週2回を清潔の目安としており、お湯は一人ひとり入れ替えています。予定にプラスして「入りたい」という人は今はいません。また拒否の人には時間をかえたり、人をかえて本人本位に対応しています。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	生活習慣に合わせ対応している為、就寝時間、休憩時間もそれぞれである。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	毎月のユニット会議で薬について必ず確認し合っている。又、変更があった際にも必ず申し送りを行い、いつから変更になっているか必ず分かるよう記録するようにしている。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	個々の楽しみ、力を引き出せるようケアプランに組み入れ支援している。		
49	(18)	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。又、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	その方の希望により外食をしたりしていたが、ここ数ヶ月は出来ていなかった。ご家族の方は定期的に、外食をされる方もいる。気兼ねなく外出できるように支援している。	初詣、花見は恒例行事として、他に1、2回外出企画をおこない、オラッチェでロバや牛と戯れソフトクリームをほおぼったり、イルカのショーを観たり等出かけています。海蔵寺までの散歩がたまにありますが、ほとんど事業所の敷地内での外気浴ということが大半です。	



自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	ご本人がお金を持ち使うことは出来ていなかったもので、これから、一緒に買い物に行ったりする支援もできるようにしていきたい。		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	電話は使いたい時にその都度対応しており、自由に電話されている。手紙をいただいた時には希望があるときには電話でお礼を伝えたりして頂いている。		
52	(19)	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	季節感のある掲示をしたり、花を飾り心地良い空間を心がけている。	外出行事の写真や折り紙作品、習字コーナーが壁を彩り、目に楽しい共用空間です。折しも七夕飾りの竹の葉や短冊も揺れ、利用者が其々に居場所をもっている様子に安寧を感じます。また目隠しカーテンも多用され、5Sも行き届き清潔です。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	リビングにソファを設置し、玄関にも椅子を設置し自由に過ごしていただけるようにしている。個人の居室も好きな時間に入って頂けるようにしている。		
54	(20)	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	できるかぎり使い慣れた物、家具を持ってきていただくようにしている。また、心地よく過ごしていただけるよう生理整頓にも気を配るようになっている。	仏壇や冷蔵庫のほかに幼稚園教諭だった人はピアノを傍らに置き、また絵画が趣味だった人は今でも絵に囲まれて生活しています。ふらつくようになって移動式の簡易手すりを家族が持ち込んだ部屋はまるで大学生が暮らすような自由闊達さが感じられ、安心感が湧きます。	備え付けのクローゼットの上にモノを置く居室がありますので、家族と相談のうえ是正を期待します。
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	トイレの空きの表示などご自分でかえ入れられる方もいる。また、洗面台横に個別にタオルを設置し、洗顔や口腔ケアの時自立で行えるよう工夫している。		

### 1 自己評価及び外部評価結果

**【事業所概要(事業所記入)】**

事業所番号	2290500087		
法人名	メディカル・ケア・サービス株式会社		
事業所名	愛の家グループホーム熱海水口 2階		
所在地	静岡県熱海市水口2-3-42		
自己評価作成日	令和1年7月4日	評価結果市町村受理日	令和元年8月19日

※事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。(↓このURLをクリック)

基本情報リンク先	<a href="http://www.kaijokensaku.nhlw.go.jp/22/index.php?action=kouhyou_detail_2018_022_kami=true&amp;JigyosyoCd=2290500087-00&amp;PrefCd=22&amp;VersionCd=022">http://www.kaijokensaku.nhlw.go.jp/22/index.php?action=kouhyou_detail_2018_022_kami=true&amp;JigyosyoCd=2290500087-00&amp;PrefCd=22&amp;VersionCd=022</a>
----------	---

**【評価機関概要(評価機関記入)】**

評価機関名	株式会社第三者評価機構 静岡評価調査室		
所在地	静岡県葵区材木町8番地1 柴山ビル1F-A		
訪問調査日	令和元年7月13日		

**【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】**

その方の生活習慣にあわせ、過ごして頂いている。スタッフも入居者様の輪に入り共に過ごしたり、入居者様が時間を意識せず、自由に生活できるように支援している。

**【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】**

熱海駅から車で5分ほどの閑静な住宅地に事業所はあります。駐車場を見下ろす玄関口のベンチに集まった利用者の笑顔に現在の事業所の在り様が凝縮されているかのようで、来訪者に「おーい」と声が出たり手を振ったりと、利用者がその人らしくイキイキと暮らす様子が伝わり、またその傍らで補助する職員もにこやかで、気持ちのよい雰囲気事業所全体を包んでいます。1階ユニット口には職員の顔写真付の自己紹介ボードが置かれ、大きく引き伸ばした外出行事の笑顔や季節のクラフト作品からも安寧が伝わり、「(職員意見を)否定しないように配慮している」との管理者の姿勢が功奏していることが観えます。

**V. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目No.1~55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します**

項目		取り組みの成果 ↓該当するものに○印		項目		取り組みの成果 ↓該当するものに○印	
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目:23,24,25)	○	1. ほぼ全ての利用者の 2. 利用者の2/3くらい 3. 利用者の1/3くらい 4. ほとんど掴んでいない	63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている (参考項目:9,10,19)	○	1. ほぼ全ての家族と 2. 家族の2/3くらいと 3. 家族の1/3くらいと 4. ほとんどできていない
57	利用者職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目:18,38)	○	1. 毎日ある 2. 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない	64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2,20)	○	1. ほぼ毎日のように 2. 数日に1回程度 3. たまに 4. ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:4)	○	1. 大いに増えている 2. 少しずつ増えている 3. あまり増えていない 4. 全くない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目:36,37)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	66	職員は、活き活きと働いている (参考項目:11,12)	○	1. ほぼ全ての職員が 2. 職員の2/3くらいが 3. 職員の1/3くらいが 4. ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:49)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (参考項目:30,31)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	1. ほぼ全ての家族等が 2. 家族等の2/3くらいが 3. 家族等の1/3くらいが 4. ほとんどできていない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている (参考項目:28)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない				

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>I.理念に基づく運営</b>					
1	(1)	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	事業所の理念があり管理者と職員とで共有し実践に向け進んでいる。		
2	(2)	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一人として日常的に交流している	地域の参加できる行事には一部入居者様と参加し地域の交流をしている。		
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	運営推進会議や又、新たな方法での理解や支援の方法を考えていきたい。		
4	(3)	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	事業所の取り組みなどの説明を行ったりご家族様の意見などをしっかりと聞き入れ改善するよう努力している。。		
5	(4)	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	地域の方に協力いただきながら、行事への参加やお祭りで子供たちが行う太鼓の練習の見学に行かせていただいたりしている。ホームの取り組みは、あまり伝えられていない。		
6	(5)	○身体拘束をしないケアの実践 代表者および全ての職員が「介指基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	全体会議で行う研修で学びながら、身体拘束をしないケアを行っている。		
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	全体会議など3か月に一回虐待研修を行い、皆で学ぶ機会を持ち防止に努めている。		

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	まだ 十分で無いためこれから行っていける様にしたい。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	十分な時間を作りお話やご説明出来る様に努めている。		
10	(6)	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	お客様の満足アンケートなどを行い機会を設けその貴重な意見を反映出来るようにしている。		
11	(7)	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	1年に1回スタッフアンケートを行ったり、直接スタッフとの面談などを行い意見を取り入れている。		
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	働きやすい職場を目指す事に努めていると思う。		
13		○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	研修の機会は十分に大切にし一人一人に合ったものを進められるようにしているが、法人外の研修は積極的には出来ていない。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	福祉祭りの会議等で交流の機会はあるが、職員までの交流までは出来ていない。		

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスを導入する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	入居時には特に関わりを増やし、1日も早く安心して暮して頂ける為の関係作りに努めている。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスを導入する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	入居前より家族との情報共有を大切にし、安心して任せて頂ける様関係作りに努めている。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスを導入する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	必要としている支援がしっかりと受けれる様に、本人あるいは家族の要望に十分耳を傾け対応している。		
18		○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	安心して穏やかな日々を送って頂ける様に、スタッフ・他入居者様との関わりの中で自らの必要性を感じて頂ける様、努めている。		
19		○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	本人と家族の関係を大切にし、一緒に支えていると感じて頂ける様努めている。		
20	(8)	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	本人、家族と話し合いながら支援に努めているが今期はあまりできていなかった。		
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せず利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	利用者同士がお互い刺激し合っている関係が築けるよう、スタッフも間に入り楽しい時間を提供出来る様努めている。		

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	必要に応じて対応・相談に努めている。		
<b>Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>					
23	(9)	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	御本人様の思い、一言一言の声を聞き逃さず努めている。		
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	御家族様や、以前利用していた事業所との情報交換に努めている、又ご本人様の馴染みの物など聞き入れ居室に置いたり一緒に行ったりしている。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	申し送りや会議などで一人一人の現状を確実に伝え、スタッフ間で確認しあい把握に努めている。		
26	(10)	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	御本人様や他関係者の方たちと話し合い意見やアイデアを反映しチームで話し合い御本人様に合った介護計画を作成できる様に努めている。		
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	日々の記録、申し送りを通しスタッフ間で情報を共有し実践している。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	その時々ニーズにあったサービスや柔軟な支援の提供が出来る様に努めている。		

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	個人に合った楽しみごとの機会を増やしている。個別での外出や昔縁のある場所を訪れたりなどしている。		
30	(11)	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	信頼の置ける主治医・看護師と入居者様の健康管理に努めている。		
31		○看護職との協働 介護職は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	入居者の体調管理については、看護師との直接の情報交換などを通して適切な対応が取れるようにしている。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、又、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	入退院時は、医療機関との十分な連携が取れるように努めている。		
33	(12)	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	重度化した方やこれから終末期を迎えるであろう方に対する対応は今後も課題であり、早い段階からの話し合いが必要であろうと考えている。		
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	研修や会議などを通して行う様にしているが、全体的に理解しているのかは難しい。		
35	(13)	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	ホームでの防災訓練を1年に2回行い、職員全員が身につけられるようにしている。		

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>					
36	(14)	○一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	誇りやプライバシーに気をつけ対応していく事を今後も配慮し目指して行く。		
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	本人の意見を尊重し本人の意見に傾ける様に努力していく。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	利用者様に合った過ごし方も常に気をつけ対応出来る様に努めている。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	利用者様の意志を尊重しながら支援している。		
40	(15)	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	季節の料理などを提供したり、利用者の好みを聞いたりなどしています。配膳・下膳の手伝いはしてくれています。		
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	一人一人の状態をチェックし、水分、食事をしながら利用者様の健康を考え対応している。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	口腔内の状況に応じて、マウスウォッシュ、歯ブラシで口腔内を清潔に保てるようにしている。		



自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
43	(16)	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	介助が必要な方には状況把握、トイレ誘導時間帯等検討するようにしている。又他の方でも御本人様の状況に応じ声掛け等、行っている。		
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	個々の排泄状況を把握し、ご本人様の状態にあわせ、食事、運動、水分等で出来る限り予防できるように努めている。		
45	(17)	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々にそった支援をしている	御本人のその日の状態を把握し基本的には午後皆様平等にゆっくり入浴して頂ける様、努めている。		
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々の状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	夜間の睡眠が十分に取れるように日中の過ごし方、休息のとり方に注意していただいている。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	特に薬変更時には、スタッフ全員にその目的、副作用、用法、用量等報告し確認し合うと共に状況の変化に注意するよう努めている。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	個々に出来る役割や楽しみについて、定期的にスタッフ間で話し合い御本人に声掛けや提供を行っている。		
49	(18)	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。又、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	御本人の希望を把握しご家族の外出や、スタッフ見守りで日常の散歩、買い物等、出掛ける機会を増やすように努めている。		

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	お金をご本人様にお預けなどはしていない。 必用に応じて一緒に買い物など行っている。		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	入居者様の寂しさ、不安を解消出来る様、電話は御本人の希望があった際使用して頂いている。		
52	(19)	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	季節感を感じて頂く為にフロア内の飾りつけなど、季節に応じて対応したり工夫している。		
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	リビングなどで過ごされる時などは座っていただく位置を決めず自由に座って頂きテレビや雑誌などを見たり昔懐かしい音楽を聴いていただいたり楽しく過ごして頂けるよう工夫している。		
54	(20)	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	家で使用されていた馴染みのあるものや好みの物を御家族様と相談しながら持ってきて頂いております。		
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	御本人様の状態に合わせ「出来る事」「分かる事」を見分け、見守り安全で自立した生活を送って頂ける様にしている。		